

第2学年音楽科学習指導案

- 1 題材名 曲想を感じ取り、そのよさを味わおう
教材名 鑑賞 組曲「展覧会の絵」(ムソルグスキー作曲 ラヴェル編曲)
- 2 題材について

《新学習指導要領とのかかわり》

B鑑賞 (1) ア 鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、次の(ア)から(ウ)までについて考え、音楽のよさや美しさを味わって聴くこと。

(ア) 曲や演奏に対する評価とその根拠

(イ) 生活や社会における音楽の意味や役割

(ウ) 音楽表現の共通性や固有性

[共通事項]

ア 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えること。

(1) 題材観

日々の生活で人とのかかわり、人間関係を形成していくことは、学校生活やその後の社会生活においても必要不可欠である。周囲の人とのかかわっていく中でコミュニケーションは最も大切であり、言葉や表情、身振りで意思や感情を伝え合いながら相手に共感したり、新しい発見をしたりすることができる。しかし、相手の気持ちを押し量りながら発言する力の低下や、自分の考えをもちながらも周囲に同調することで安心感をもち個性を主張していくことに抵抗を感じる生徒も見られる。

新学習指導要領の実施に向けて「主体的・対話的で深い学び」の実現のために、自分が何を感じ取り、何を考え、何を思ったかを相手に伝えるために必要な手段を選択し、発信していくことは音楽科においても大切にしていきたい。そして、それを相手に理解してもらうことや他者の想いを理解して尊重することが表現力を高めることに繋がると考える。

本題材では、自分が感じ取った雰囲気やイメージを、音楽を形づくっている要素と結び付けて味わい、自分の想いを幅広く具体的な言葉を活用して互いに伝え合うことをねらいとしている。音楽的な見方・考え方を働かせる活動を通して、楽曲から自分なりの想いをもつことを恐れずに自信に変えていきたい。また、その想いを他者と共有することは、自分にはない感覚や表現方法に気づき、豊かな感性を育むことにつながると考える。これらの言語活動を通じた鑑賞から、様々な表現の工夫を知覚し、歌唱や器楽などの活動における表現の幅を広げることを目的とし、音楽的なコミュニケーションを楽しむことへ繋げることができるよう本題材を設定した。

(2) 指導観

「展覧会の絵」はロシアの作曲者ムソルグスキーが、親友である建築家で画家のガルトマンの遺作展覧会をきっかけに、出展されていたと思われる作品にちなんだ10曲と、5曲のプロムナードからなる組曲である。プロムナードや10曲目のキエフの大きな門の旋律は、現在でもテレビなどで耳にすることがある。原曲はピアノ独奏曲だが、多くの音楽家の手で編曲がなされている。その中でも最も有名なラヴェル編曲による管弦楽版を扱って鑑賞を行う。

本題材では絵画を由来とした10曲の中から「テユイルリー ―遊んだあとの子どものけんか―」「卵の殻をつけたひなどりのバレエ」「鶏の足の上に建っている小屋」「キエフの大きな門」を抜粋する。

「テユイルリー ―遊んだあとの子どものけんか―」では、ガルトマンがパリで子どもの様子を描いた作品である。子どものけんかとそれをたしなめる大人を、軽やかなリズムとゆったりと流れるような旋律の対比が表現している。

「卵の殻をつけたひなどりのバレエ」では、ガルトマンの絵ではバレエの衣装のデザイン画が

描かれている。高音木管楽器や弦楽器のピッチカートを活用し、ひなどりの素早い動きを表現している。

「鶏の足の上に建っている小屋」はバーバ・ヤーガの小屋とも題され、ロシアの妖怪（魔女）であるバーバ・ヤーガのスピード感溢れる動きと、恐ろしさを表す中間部で構成されている。低音楽器や打楽器による強奏部と金管楽器による旋律が不気味さや緊迫感を表現している。

「キエフの大きな門」はウクライナの首都であるキエフに再建する凱旋門のデザイン画の公募が行われた際に、ガルトマンが提出した絵が取り上げられている。教会から聞こえる鐘の音や聖歌隊の合唱やゆったりと伸びる金管楽器による重厚なハーモニーと荘厳な響きが立派な門の様子を表現し、盛大に曲を締めくくる。

これらの4曲は曲想表現など曲の特徴を捉えやすいため、生徒たちが音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取ることができる。また、絵画との関わりをもたせることで、音のみではイメージすることが難しい生徒も音から情景を想像することができると思った。知覚したことと感受したこととの関わりについて考える活動を深めさせたい。

これまでの授業では、生徒主体の合唱のパート練習や、ギター学習での相互評価や創作活動のまとめで行ったグループ発表会など個人での取組からペアや少人数での活動を行ってきた。今回の鑑賞の学習の中でも少人数グループでの意見交換など主体的な活動を取り入れていきたい。

音楽を形づくっている要素や要素同士の関連がどのような働きをしているかを知覚することと、どのような感じがしたのかを自分の言葉で表現することを通して、自らの表現力へ繋げさせたいと考える。

3 題材の目標

○曲想を感じ取りながら、音楽のよさや美しさを味わって聴こうとする。

4 題材の評価規準

ア 音楽への関心・意欲・態度	エ 鑑賞の能力
音楽を形づくっている要素と曲想との関わりに関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取ながら、音楽を形づくっている要素や曲想との関わりを理解して、解釈したり価値を考えたりし、根拠をもって批評するなどして、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。

5 研究の視点

【視点1】9年間を見通した学び方の共有

○音楽を形づくっている要素を感じ取るための手立て

① 掲示物、ワークシートの工夫

毎授業においてミニ鑑賞を行い、音楽的な見方・考え方を働かせる意識を高めさせる。音楽から感じ取った特徴と音楽を形づくっている要素を関連付けて考えることができるように、用語集や掲示物を用いる。また、生徒の実態に合わせて穴埋め形式や予め決められた形式でのワークシートから、自由に書き込みを行うことができるものへと活用の仕方を考える。聴き取ったことや感じ取ったことを言葉で伝えることに抵抗がある生徒でも、幅広く具体的な言葉を活用することができるような工夫をする。

② 学習形態の工夫

個人で音楽を味わう場面と、感じ取った曲の特徴について他者と共有しあう場面を設定する。他者に伝えるということ踏まえて、意識して鑑賞活動に臨ませたい。また、少人数グループで司会者や記録者などの役割を決めて主体的に意見交換を進めることができるようにする。

6 題材の指導計画及び評価計画（2時間扱い）

次	時	○学習内容・主な学習活動	評価規準
第一次	1	<p>ねらい 曲の特徴を感じ取り、音楽を形づくっている要素と結び付けて聴く。</p> <p>○楽曲、作曲者について知る。 ・第1、第4プロムナードを鑑賞する。 （曲の雰囲気、楽器の音色、長調短調の違い・強弱・速度） ・抜粋した4曲の冒頭部分を鑑賞し、第一印象をワークシートに記入する。 ・楽曲、作曲者について知る。 ・10曲に対応する絵とプロムナードを図で示し曲全体を把握する。</p> <p>○曲の特徴を感じ取り、絵画との関係を考える。 ・曲に対応する4枚の絵画について題名や背景を知る。 ・曲の特徴を捉えながら、対応する絵画を考える。</p>	<p>音楽を形づくっている要素と曲想との関わりに関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 （関心・意欲・態度）</p> <p>音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、音楽を形づくっている要素や曲想との関わりを理解して、解釈したり価値を考えたりし、根拠をもって批評するなどして、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 （鑑賞の能力）</p>
	2 〔本時〕	<p>○前時の振り返りをする。 ・楽曲、作曲者や絵画について確認する。 ・自分が感じ取ったイメージが音楽的な特徴を捉えた根拠となっているかを確認する。</p> <p>○楽曲ごとのグループに分かれて鑑賞を行う。 ・個人で感じ取ったイメージと聴き取った曲の特徴について、他者と共有する。 ・自分たちのグループの曲はどの絵画に当てはまるものなのか、明確な根拠と共に決定づける。 ・同じ曲を聴いた他のグループと情報を共有する。</p>	<p>音楽を形づくっている要素と曲想との関わりに関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 （関心・意欲・態度）</p> <p>音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、音楽を形づくっている要素や曲想との関わりを理解して、解釈したり価値を考えたりし、根拠をもって批評するなどして、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 （鑑賞の能力）</p>

7 本時の学習 (2/2)

(1) 本時の目標

○絵画を表す音楽の特徴を探り、そのよさを味わう。

(2) 展開

時配	学習内容と学習活動	○教師のかかわり ◆評価規準 (評価方法)
5分	<p>1 前時の復習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 楽曲、作曲者や絵画について振り返る。 ・ 自分が感じ取ったイメージが音楽的な特徴を捉えた根拠となっているかを確認する。 <p>2 本時の目標を確認する。</p>	<p>○ワークシートを確認する。</p> <p>○絵画と音楽を形づくっている要素を提示しながら前時の振り返りをすると共に、双方の関わりを感じ取りながら聴くことを確認する。</p> <p>○本時の目標を確認する。</p>
20分	<p style="text-align: center;">絵画を表す音楽の特徴を探ろう。</p> <p>3 グループごとに「テイルリー」「卵の～」 「鶏の～」 「キエフ～」のうち指定された1曲について意見交換をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>グループ役割分担 (5人×3 + 4人×5)</p> <p>①司会者 ②CD再生 ③発表 ④⑤記録</p> </div> <p>(1)全員で曲を聴く。 (2)鑑賞メモに記入したことを発表する。 (3)発表内容を確認するために全員で曲を聴く。 (4)新しい発見や友達の発表について質問があれば意見交換をする。→必要があれば曲を聴く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 曲の特徴と音楽を形づくっている要素を結びつけながら、どの絵画を表しているものを鑑賞しながら考える。 <p>4 グループの意見をまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指定された曲がどの絵画を表しているのかを明確な根拠と共にホワイトボードにまとめる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>〈例〉 この曲が表している絵のタイトル</p> <p>「① ○○○が ② △△△だから ③ □□□を表している。」</p> <p style="text-align: right;">【グループメンバー名】</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>①聞こえてきた音や楽器 ②音色、強弱、速度、リズムなどの要素 ③その音や表現が表す情景、イメージ</p> </div>	<p>○グループで役割分担をしてから始めることを促す。</p> <p>○まずは個人の意見を全て集約し、質問事項などを確認し、再度鑑賞が必要な部分は全員で聴くように助言する。</p> <p>○グループを巡視し、話をしながら鑑賞したり、特定の部分を繰り返し鑑賞したりしてもいいことを伝える。</p> <p>○ホワイトボードへのまとめ方は、②の音楽を形づくっている要素はフラッシュカードを使用すること、まとめ方の形式は問わないが、①②③の事項が入っているように指示する。</p> <p>〈関心・意欲・態度〉</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>◆音楽を形づくっている要素と曲想との関わりに関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。〈観察・ワークシート〉</p> </div> <p>〈鑑賞の能力〉</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>◆音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、音楽を形づくっている要素や曲想との関わりを理解して、解釈したり価値を考えたりし、根拠をもって批評するなどして、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。〈ワークシート〉</p> </div> <p>○活動が滞っているグループには、聴き取ることができた音について、どんな印象を受けたのか、その理由は何かを順序だてて確認するように促す。</p>

15分	<p>5 他グループと情報を共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同じ曲を鑑賞した他グループ同士で発表する。 ・発表係が聴き取った音楽の特徴と共に自分のグループが選んだ絵画を発表する。 ・発表が終わったら、黒板に提示してある絵の近くにホワイトボードを貼り、全てのグループの意見を確認できるようにする。 	<p>○時間があれば、代表グループに全体の前で発表してもらい、皆でその曲を聴いて確認する。</p>
10分	<p>6 曲に対応する絵を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・改めて自分たちが聴き取った曲の特徴と絵画とのかかわりを確認する。 	

《予想される生徒の反応》

①「テイルリーの庭」

高音の細かいリズムと明るい音色が、子供たちが楽しく遊んでいる様子を表している。また、だんだん大きくなるところは遊びが盛り上がっている感じを表している。(音色・リズム・強弱)

②「卵の殻をつけたひなどりのバレエ」

高音の細かい装飾音や弦楽器の短い音。音階のような旋律がひなどりがちょこちょこ動く様子を表している。高音が伸びるところは鳴き声を表している。(音色・リズム・旋律)

③「鶏の足の上に建っている小屋」

打楽器や低音楽器の力強くアクセントのついた音がバーバ・ヤーガの不気味さを表している。速度が速く金管楽器の旋律や高音で伸ばす音が、バーバ・ヤーガが猛スピードで襲ってくる感じを表している。(音色・強弱・速度・リズム)

④「キエフの大門」

強く大きな音と華やかな金管楽器のハーモニーが大きく立派なキエフの大門を表している。
(強弱・音色・テクスチャ)

絵画を表す音楽の特徴を探ろう

ムソルグスキー作曲「展覧会の絵」より

曲A

①聴き取ったこと（実際に聞こえてきた音）	②感じ取ったこと（イメージ・情景・雰囲気）
【 】 ★	☆
【 】 ★	☆
【 】 ★	☆
【 】 ★	☆
【 】 ★	☆
※【 】の中は 音色・リズム・速度・旋律・強弱 テクスチャ・形式・構成から探してみよう！	★ヒント言葉集から探してもOK！

③この曲は・・・「 卵 ・ キエフ ・ テュイルリー ・ 鶏の足 」(自分の予想に○)

「①の音が②な感じを表しているから「絵のタイトル」の○○な部分を表現している」

のように結びつけよう！

正しい絵は・・・「 卵 ・ キエフ ・ テュイルリー ・ 鶏の足 」(最後に○をつけましょう)

曲B

①聴き取ったこと（実際に聞こえてきた音）	②感じ取ったこと（イメージ・情景・雰囲気）
【 】 ★	☆
【 】 ★	☆
【 】 ★	☆
【 】 ★	☆
【 】 ★	☆
※【 】の中は 音色・リズム・速度・旋律・強弱 テクスチャ・形式・構成から探してみよう！	★ヒント言葉集から探してもOK！

③この曲は・・・「 卵 ・ キエフ ・ テュイルリー ・ 鶏の足 」(自分の予想に○)

「①の音が②な感じを表しているから「絵のタイトル」の○○な部分を表現している」

のように結びつけよう！

正しい絵は・・・「 卵 ・ キエフ ・ テュイルリー ・ 鶏の足 」(最後に○をつけましょう)

年 組 番 氏名

曲C

①聴き取ったこと（実際に聞こえてきた音）	
【 】	★
【 】	★
【 】	★
【 】	★
【 】	★
※【 】の中には 音色 ・ リズム ・ 速度 ・ 旋律 ・ 強弱 テクスチャ ・ 形式 ・ 構成 から探してみよう！	

②感じ取ったこと（イメージ・情景・雰囲気）	
☆	
☆	
☆	
☆	
☆	
☆	
★ヒント言葉集から探してもOK！	

③この曲は・・・「卵・キエフ・テュイルリー・鶏の足」（自分の予想に○）

「①の音が②な感じを表しているから「絵のタイトル」の○○な部分を表現している」

のように結びつけよう！

正しい絵は・・・「卵・キエフ・テュイルリー・鶏の足」（最後に○をつけましょう）

曲D

①聴き取ったこと（実際に聞こえてきた音）	
【 】	★
【 】	★
【 】	★
【 】	★
【 】	★
※【 】の中には 音色 ・ リズム ・ 速度 ・ 旋律 ・ 強弱 テクスチャ ・ 形式 ・ 構成 から探してみよう！	

②感じ取ったこと（イメージ・情景・雰囲気）	
☆	
☆	
☆	
☆	
☆	
☆	
★ヒント言葉集から探してもOK！	

③この曲は・・・「卵・キエフ・テュイルリー・鶏の足」（自分の予想に○）

「①の音が②な感じを表しているから「絵のタイトル」の○○な部分を表現している」

のように結びつけよう！

正しい絵は・・・「卵・キエフ・テュイルリー・鶏の足」（最後に○をつけましょう）

年	組	番	氏名
---	---	---	----

音楽を表すヒント言葉集

元気な	1	元気な
	2	力強い
	3	活発な
	4	堂々とした
	5	生き生きとした
	6	たくましい
はずむ	7	とぶような
	8	走るような
	9	はずむような
	10	うきうきするような
楽しい	11	楽しい
	12	明るい
	13	うれしい
	14	幸福な
	15	輝かしい
	16	華やかな
	17	歌うような
	18	ほがらかな
	19	可愛らしい
	20	さわやかな
おかしい	21	おかしい
	22	いそがしそうな
	23	おどけた
	24	はしゃいだ
	25	間が抜けた
	26	きまぐれな
	27	ふざけているような
	28	ちぐはぐな

落ち着いた	29	落ち着いた
	30	美しい
	31	静かな
	32	ゆったりとした
	33	のどかな
	34	豊かな
	35	おだやかな
	36	なめらかな
	37	うらかな
	38	やすらかな
優しい	39	どっしりとした
	40	重々しい
	41	おおらかな
	42	優しい
	43	懐かしい
	44	うっとりとした
	45	思い出すような
	46	親しみのある
	47	心のあたたまる
	48	懂れる
	49	夢見るような
50	気高い	
51	祈るような	

悲しい	52	悲しい
	53	弱々しい
	54	寂しい
	55	暗い
	56	憂鬱な
怖い	57	怖い
	58	恐ろしい
	59	怪しい
	60	不思議な
	61	不気味な
その他	62	おとなしい
	63	なごやかな
	64	激しい
	65	迫力のある
	66	あたたかい
	67	冷たい
	68	息苦しい
	69	ふわふわした
	70	
	71	
	72	
	73	
	74	
	75	



音楽を形づくっている要素 活用ヒント集

★以下を参考に鑑賞カードの①「聴き取ったこと」を記入しよう！

要素	活用方法(鑑賞カードへの記入例)
【音色】	<ul style="list-style-type: none"> ・楽器の種類 ・木管楽器、金管楽器などの大きなまとまり（弦楽器のような）もOK！ 《楽器は分からないけど・・・こんな感じ！》 ・太い⇔細い ・丸い⇔とがった ・かたい⇔やわらかい ・透明な⇔濃い ・芯のある ・のびやかな ・キレのいい ・輪郭のはっきりした ・つやのある ・潤いのある音。
【強弱】	<ul style="list-style-type: none"> ・強い ・弱い ・少し～ ・だんだん～ ・急に～
【速度】	<ul style="list-style-type: none"> ・速い ・遅い ・少し～ ・だんだん～ ・急に～
【リズム】	<ul style="list-style-type: none"> ・細かい⇔ゆったりした ・一定⇔不規則 ・歯切れがよい 等 ・「タンタン」「ターター」など言葉で表してもOK！ ※リズムは音の長さの組み合わせによって変化します。 速度と間違えないように注意！！ （「リズムが速い」はNG！⇒正しくは「リズムが細かい」）
【旋律】	<ul style="list-style-type: none"> ・上がっていく、下がっていく ・急に上がる、下がる ・続く感じ ・終わる感じ ・なめらかなメロディー ・音の高低の変化 ・長調（明るい感じ）⇔短調（悲しい感じ） ・音階や調など
【テクスチャ】	<ul style="list-style-type: none"> ・音の重なり ・旋律と伴奏 ・旋律と対旋律 ・独奏と合奏 ・和音（ハーモニー）の響き ・飾りの音
【形式】	<ul style="list-style-type: none"> 《音楽の様々な形式》（「Aの旋律→Bの旋律」などのまとまり） ・二部形式…「夢の世界を」 ・リトルネロ形式…「春」 ・ソナタ形式…交響曲第5番ハ短調第1楽章（ベートーヴェン）
【構成】	<ul style="list-style-type: none"> ・何度も繰り返す ・繰り返しながら〇〇に変化する ・最後に同じ旋律がもう一度出てきた ・二つの旋律が掛け合っている

※これが全てではありません！自分の言葉で探してみよう！

要素の組み合わせや混ざり方によって
音楽の特徴が決まるんだね！
そして、聴く人に「〇〇な感じ」という
印象を与えるんだね♪

使う調味料によって
味が変わると一緒だ！

